

施策2-1

地域ぐるみの健康長寿のまちづくりについて

～健やかにっしん宣言を中心に～

担当課：健康福祉部地域福祉課、健康課、保険年金課
福祉会館、教育部生涯学習課

日進市総合戦略に掲げる数値目標及びKPI達成状況

1 数値目標

基本目標2 健康長寿を支えるまちを創生する

数値目標	初期値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値
健康を実感している市民の割合（％）	83.4 （平成26年度 市民意識調査）	82.0 （平成28年度 市民意識調査）	—	83.7 （平成30年度 市民意識調査）	95

2 KPI

施策2-1 地域ぐるみの健康長寿のまちづくり

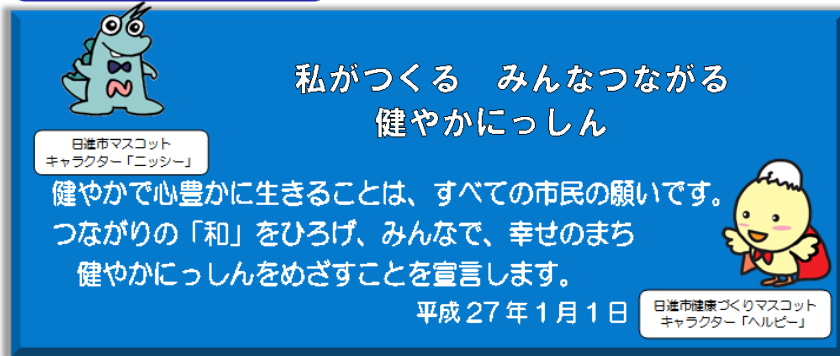
KPI	初期値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目標値
健康に意識した取組を行っている市民の割合（％）	56.8 （平成26年度 市民意識調査）	58.7 （平成28年度 市民意識調査）	—	60.7 （平成30年度 市民意識調査）	70
普段の生活で介護・介助が必要ない高齢者の割合（％）	81.4 （平成25年度 にっしん高齢者 ゆめプラン アンケート）	—	91.3 （平成28年度 にっしん高齢者 ゆめプラン アンケート）	—	82

※市民意識調査など毎年度実施しないアンケート調査に基づく指標で、当年度の値がないものについては、「—」を記載しています。

健やかにっしん宣言とは

- 市では、市政施行 20 周年を迎えた平成 26 年度に、市民とともにさらなる健康づくりを進めるため、「健やかにっしん宣言」を行いました。

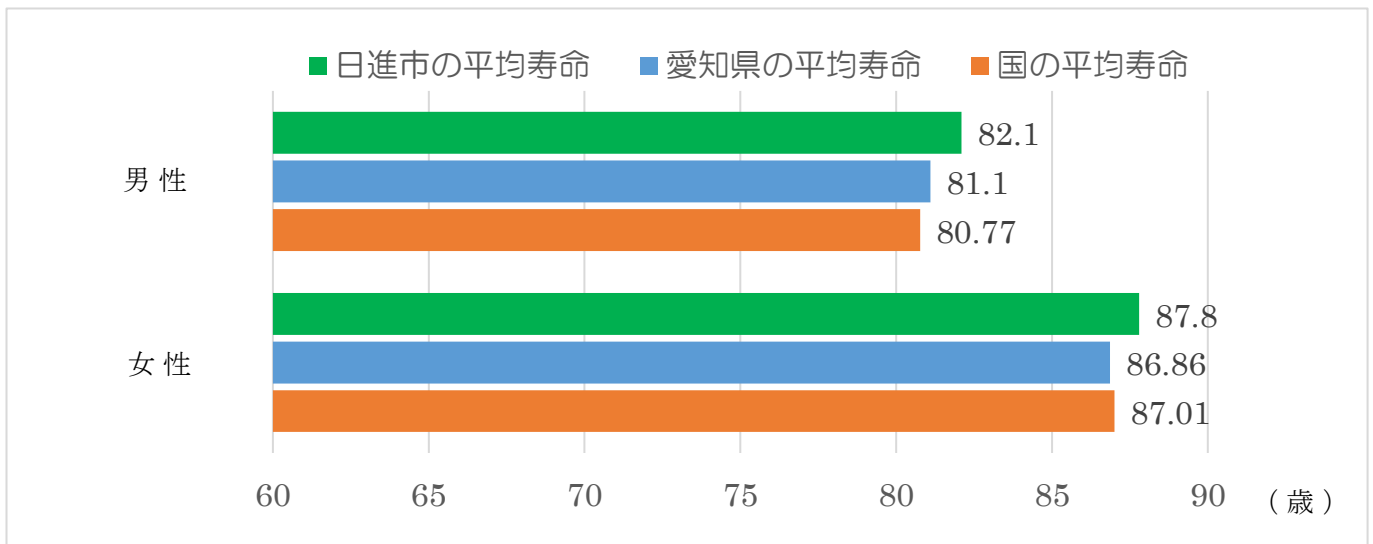
健やかにっしん宣言



宣言の策定にあたっては、市と市民が協働して作成を行いました。

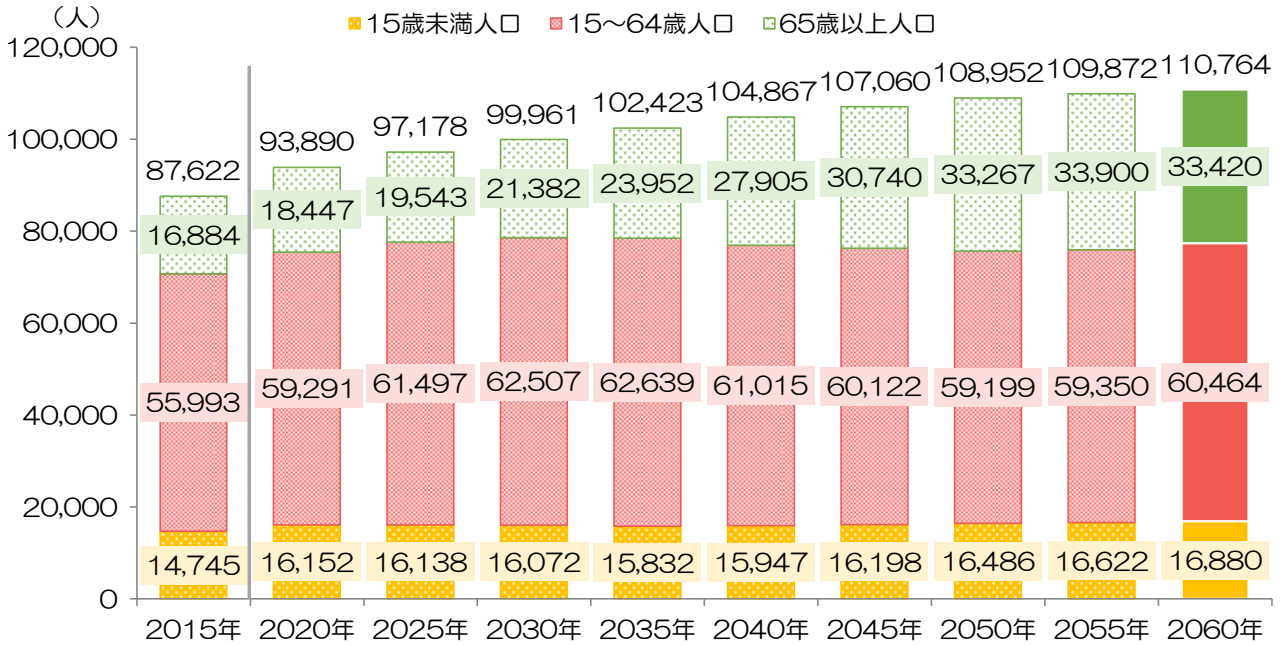
日進市における健康に関する状況等

- 平成 27 年の平均寿命は、男性 82.1 歳、女性 87.8 歳で、県内トップです。



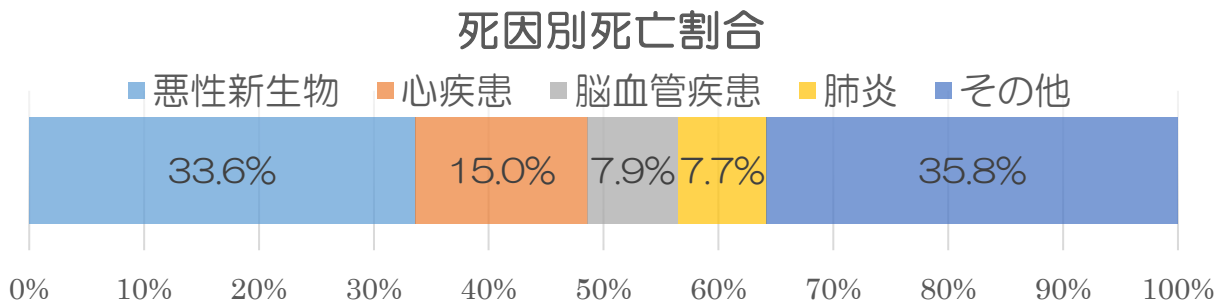
(厚生労働省「平成 27 年完全生命表」「市区町村別生命表」より)

- 2060年までの将来人口推計では、今後も本市の人口は増加傾向にあります。
- 年齢別では、2060年時点で、65歳人口は2015年の約2倍(33,420人)となり、高齢化が見込まれています。



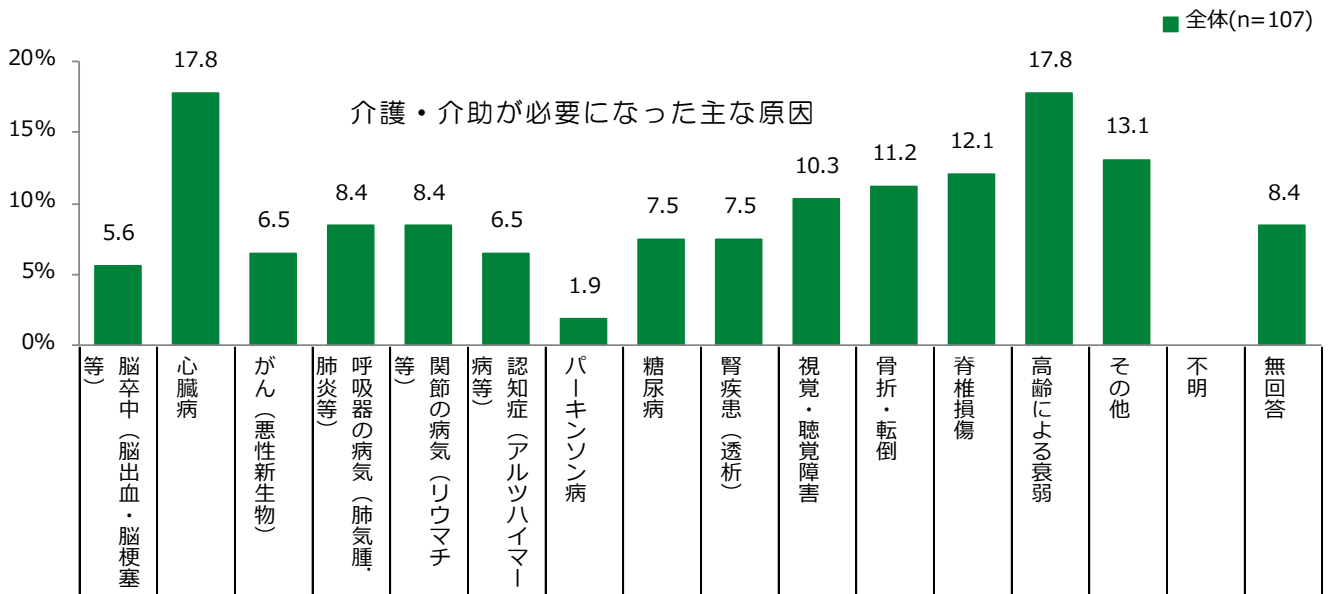
(「日進市総合戦略・人口ビジョン」より)

- 死因別死亡者数は、生活習慣病の悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が死因の5割を超えています。



(「平成28年愛知県衛生年報」より)

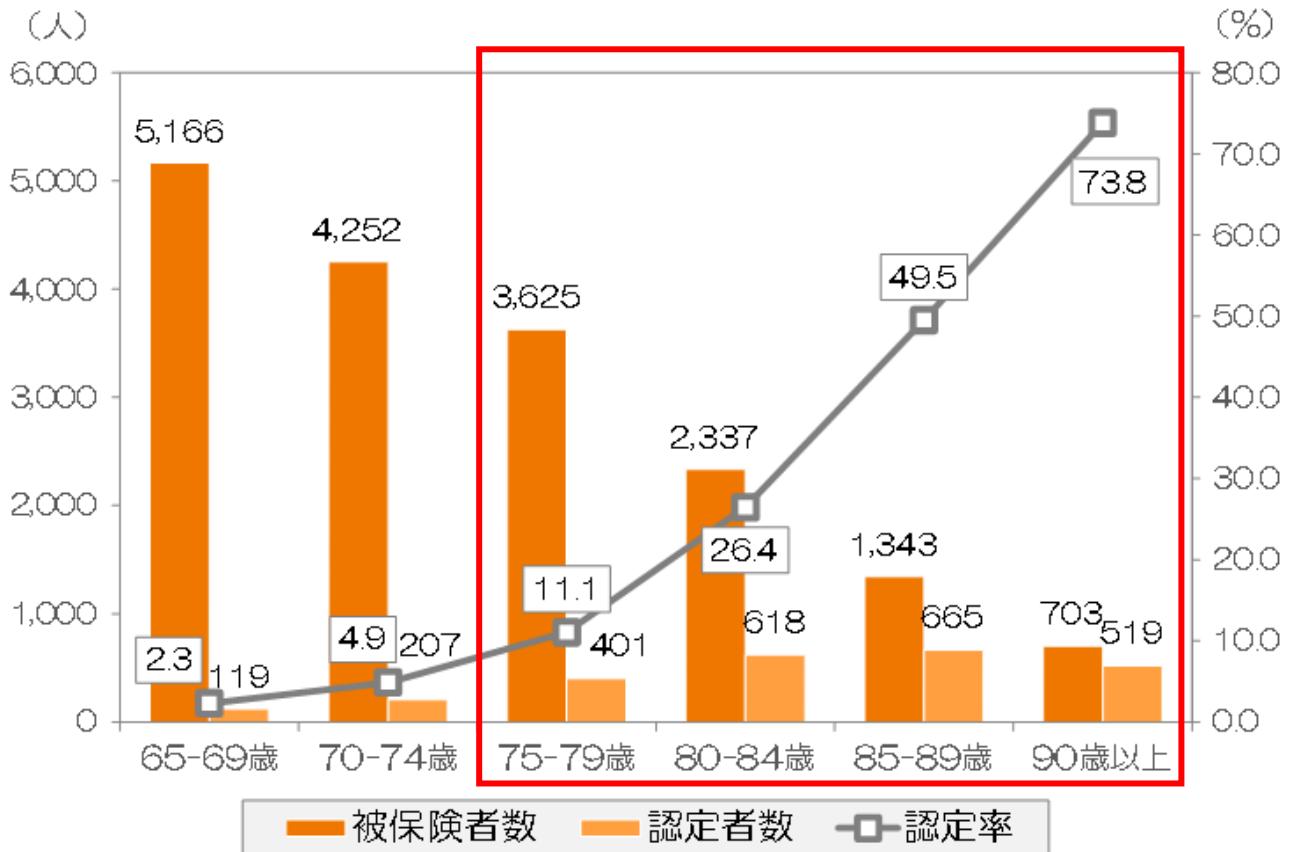
○ 介護・介助が必要となった主な原因は、心臓病と高齢による衰弱が高く、次いで脊椎損傷となっています。



(「第7期にっしん高齢者ゆめプランアンケート結果」より)

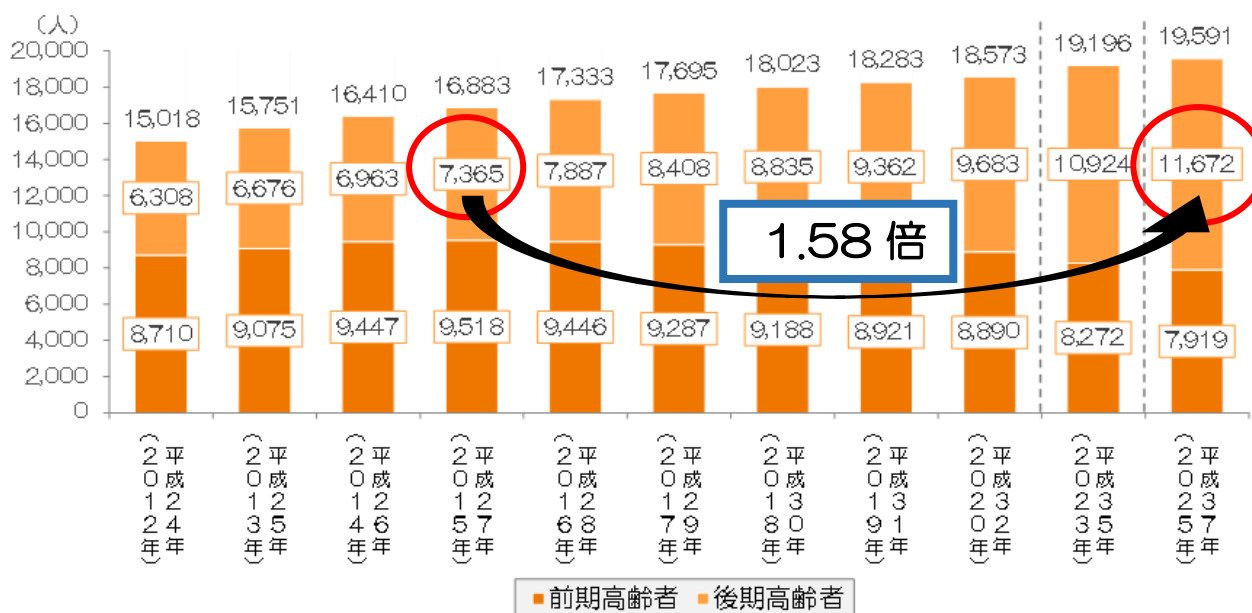
○ 75歳以上の高齢者の要介護認定率は、急速に高まります。

年齢別要介護認定率の傾向



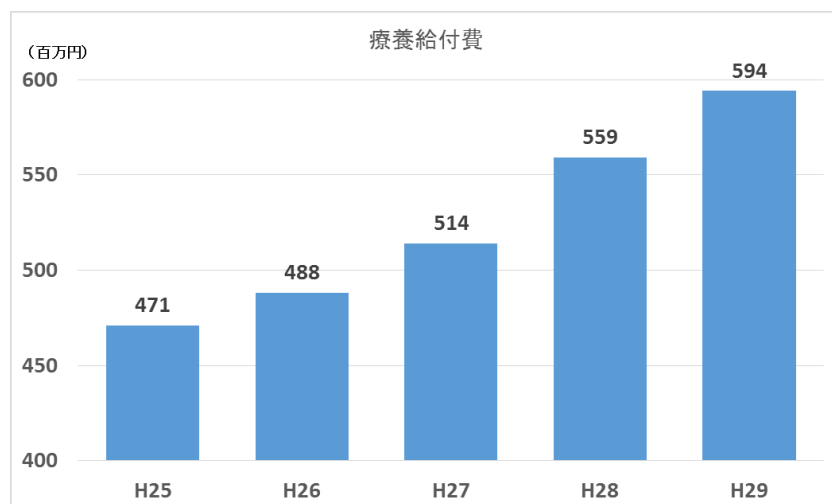
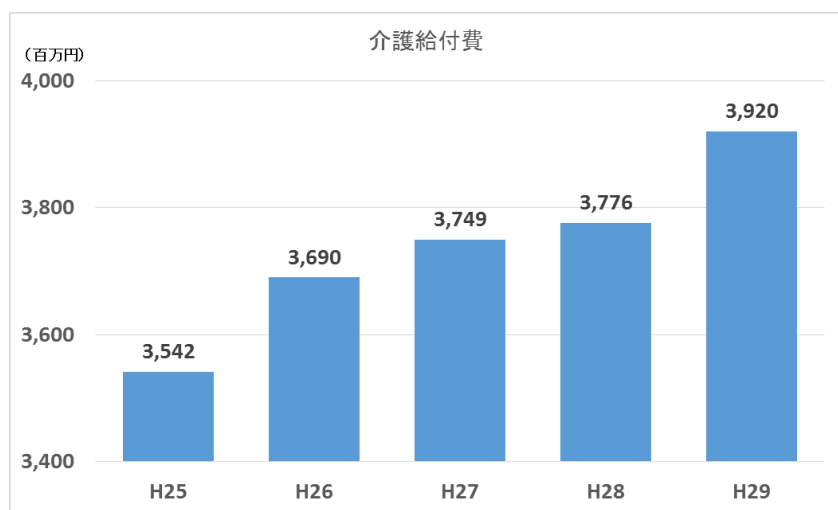
(「第7期にっしん高齢者ゆめプラン」より)

○ 介護、医療のニーズがより高まる 75 歳以上高齢者の人口は、2015 年から 2025 年までのわずか 10 年間で、1.58 倍になります。



(「第7期にっしん高齢者ゆめプラン」より)

○ 介護給付費および後期高齢者の給付費は高齢者の増加にあわせて増加傾向にあります。



施策の方向性

1 健康づくり

予防により可能な限り要介護、要医療とならないよう健康づくりを進める必要があります。

2 場づくり

健康づくりや介護予防への意識を高めるため、きっかけづくりと場づくりが必要です。

3 体制づくり

医療・介護等の専門職による支援の体制づくり、地域の支えあいによる幅広い支援（互助）の仕組みづくりが必要です。

日進市における主要な取組

1 健康づくり

○介護支援ボランティア事業（「にっしんおたっしゅボランティア」）

高齢者が介護施設等登録施設でボランティア活動を行った際にポイントを付与し、貯まったポイントを交付金などに交換できる制度。地域貢献や社会活動を通して、健康づくりを推進する。（登録者：107人）

○にっしん健康マイレージ事業

健康づくりへの動機づけとして、愛知県と協働で実施。事業のPRを行い、健康づくりに取り組み、一定のポイントを獲得した者に、県内の協力店で特典が受けられるカードを交付する。平成29年度は276枚のカードを交付した。

○生活習慣病重症化予防事業

市国民健康保険の被保険者で特定健診を受診した者のうち、糖尿病の要治療者を訪問し受診勧奨を実施する。

平成29年度は対象者14人に受診勧奨通知を行い、そのうち3人に家庭訪問した。結果として5人の受診につながった。

2 場づくり

○つどいの場形成事業・つどいの場づくり事業

つどいの場の開設に伴う環境整備や健康づくり事業に必要な経費等に対して補助金を交付し、つどいの場の開設・運営を支援する。(つどいの場：61箇所)

【平成29年度】対象団体数：7団体 助成金額：362,387円

新規登録団体数：5団体

また、つどいの場に対して公開プレゼンテーションにて審査会を行う助成事業を新規で実施した。

【平成29年度】対象団体数：5団体 助成金額：289,730円

○にっしん体操推進事業

地域で気軽に立ち寄れる運動の場として「にっしん体操スポット」の立ち上げを支援する。平成29年度末で18箇所。他に保育園等への出前講座や体操指導者養成教室を実施する。

○おたっしゃハウス事業

65歳以上の高齢者を対象に、日常生活を元気でいきいきと過ごせるように、介護予防を目的に、腰掛けて行う軽い体操等を午前中、午後はカラオケ等を楽しんでもらい、生きがいづくりの場を提供し、高齢者の健康推進に努めた。平成29年度は全福社会館で、延べ230回開催し、延べ11,461人の参加者数がありました。

○高齢者学校事業

市内の小学校等で「いきいきシルバースクール」を開催した。平成29年度は小学校3校で開催し、延べ769人が受講した。

○総合運動公園再生整備事業

自然豊かな環境の中で幅広い世代の市民が遊びや健康づくりを楽しめるよう総合運動公園の施設の再生整備を進める。平成28年度のジョギングコースの整備、平成29年度の園内3箇所のトイレ改修に引き続き、平成30年度はスポーツ広場の排水対策工事を実施した。

3 体制づくり

○在宅医療・介護連携支援推進事業

①在宅医療・介護連携支援センター（やまびこ日進）の設置

地域の在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口となる在宅医療・介護連携支援センターを設置している。（平成30年4月開設）

また、地域の医療機関・介護保険サービス事業者向けに、医療と介護の多職種連携研修会を開催した。

【平成29年度】研修回数：4回

②在宅医療・介護連携システム「健やかにっしん・ヘルピーネット」の運営

地域包括ケアシステムの構築に向け、在宅療養生活を支えるため、医療・介護関係者間での速やかな情報提供や情報共有が可能となるよう、ICTを活用した連携システムの利用促進を図る。

【平成29年度】登録者数：179人

4 介護予防・日常生活支援総合事業

○介護予防・生活支援サービス事業

①足腰おたっしゅクラブ（運動器の機能向上事業）

生活行為の改善を目的として、3ヶ月12回を1サイクル（最長2サイクル）とする運動プログラムを中心とした教室を実施する。

【平成29年度】開催コース：8コース、参加者数：延べ1,161人

②健口健食げんきクラブ（栄養改善・口腔機能向上事業）

生活行為の改善を目的として、6ヶ月10回を1サイクルとする栄養改善・口腔機能向上プログラム（一部運動プログラムを導入）を中心とした教室を実施する。

【平成29年度】開催コース：2コース、参加者数：延べ162人

○一般介護予防事業

①ゆうゆう体操教室（運動器の機能向上事業）

運動器の機能向上を目的に、中央福祉センターにおいて週1回の運動教室を実施する。

【平成29年度】開催回数：46回、参加者数：延べ1,592人

② オープン回想法事業（認知症予防事業）

認知症予防を目的に、福祉情報センターにおいて、グループ回想法を自由参加形式で実施する。

【平成 29 年度】開催回数：47 回、参加者数：延べ 382 人

③ つどいの場への専門職派遣（運動、栄養、口腔、認知症等講師派遣）

地域におけるつどいの場（ふれあいいいきいきサロン等）に講師派遣等を実施する。

【平成 29 年度】

ア	理学療法士（転倒予防教室）	11 箇所
イ	音楽療法士（音楽療法）	11 箇所
ウ	回想法講師（グループ回想法）	8 箇所
エ	栄養士（栄養講座）	9 箇所

目標達成のための方向性

○「つどいの場」は、住民主体の運営によって、社会参加・生活支援・介護予防を一体的に進めます。「健やかにっしん宣言」のもと、「つどいの場」を拡充して、住み慣れた地域で「健康づくり」をきっかけとした「地域づくり」を進め、「ひと」「まち」「社会」の健康をめざします。

○「ゆうゆう体操」での運動プログラムや運営のノウハウを基本に、平成 30 年度の西部地域に続いて、東部地域においても地域版介護予防教室の開設を進め、身近な地域での介護予防を中心とした場づくりを行います。

○「おたっしゃハウス事業」については、今年度から、第 5 週を開催することとし、実施回数を増やして行っていますが、各福社会館において受け入れ人数に限られることから、高齢化が進む将来に向けて、健康福祉部内で高齢者の健康づくりについて方向性を検討していきます。

○健康に意識した取組の習慣付けのきっかけづくりとして、「にっしん健康マイレージ」を引き続き実施します。地域や企業などへも事業を PR し、個人・家族・友人・職場での健康づくりを呼びかけます。

○地域での健康づくりを進めるため、引き続き「にっしん体操スポット」の立ち上げ支援や、老人クラブ健康教室、つどいの場等への講師派遣を引き続き実施します。

○生活習慣病の重症化を防ぐため、市国民健康保険加入者の特定健診受診率・特定保健指導実施率向上を目指すとともに、引き続き糖尿病要治療者への受診勧奨訪問を実施します。また、糖尿病合併症の一つである糖尿病性腎症の重症化から人工透析に移行することを予防するため、糖尿病治療者に対して市内かかりつけ医の協力の下、平成30年度にモデル実施した糖尿病性腎症重症化予防事業（保健指導）を拡充します。

<にっしん体操スポットの様子>

